

(令和2年度 学校評価)

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立今治西高等学校

学校番号( 14 )

評価実施日		書面開催(令和3年3月)	
委員	氏名	所属等	備考
	松浦 昭始	元県立高等学校教頭	
	村上 篤夫	企業経営者	
	野間 逸人	税理士	
	小山田 憲正	寺住職	
	吉武 美由紀	病院事務長	
	小島 秀範	P T A会長(全日制)	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導について</p> <p>電子黒板、プロジェクターが設置され、利活用のための研修等も必要かと思われるが、今後の授業内容の充実が期待される。(全)</p> <p>厳しい時世にあっても、仕事と勉強を両立させようと、強い意志を持って努力している姿を応援したい。(定)</p> <p>アンケートから、生徒が意欲的に学業に取り組んでいる事が、進学・就職へと結果を結んでいると分かった。(定)</p> <p>(2) 学校行事について</p> <p>コロナ禍にあっても、生徒会が中心となり知恵を出し合い、検討を重ねて、生徒の心に残る運動会を成功させたのは素晴らしいことと思う。(全)</p> <p>修学旅行が次年度には実施できることを願っている。(定)</p> <p>行事の中止や縮小が余儀なくされる中、シトラスリポ作りは時宜に合った取組で、作業を通して生徒の心に響くものがあつたのではないかとと思う。(定)</p> <p>(3) その他</p> <p>コロナ禍の中、授業、学校行事、部活動、それぞれに工夫して実施されており感心した。(全)</p> <p>図書館や教室のパソコンの利用環境についてなど、3年連続4未満の評価になっている項目がある。一考あつても良いのではないか。(全)</p> <p>アンケートからは、諸活動に積極的に参加しようとする生徒の様子や、学校の活動に対して全面的に協力的である保護者の様子がうかがうかがえる。(定)</p> <p>2 その他</p> <p>高校入試の志願者が少ないのが少々残念だ。(全)</p>	<p>・来年度からは、生徒1人に1台のパソコンが配布される。情報教育課を中心に研修を重ねているところである。利活用に向け、さらに精進したい。</p> <p>・三修制を利用して積極的に自分の進路実現を考える生徒もいれば、「卒業」という目標を持ちながらも基本的な生活習慣が身に付いていない生徒もいる。生徒一人一人に合わせた、1年次からの進路指導(キャリア教育)に力を入れていく。</p> <p>・行事の実施に当たっては、実施状況が今後の前例となるという高い意識で緊張感を持って取り組むことで、生徒の成長が見られた。成功体験が今後の活動につながるよう支援していきたい。</p> <p>・人権同和教育のホームルーム活動で実施したシトラスリポ作りでは、新型コロナウイルスに関する差別問題を通して社会の在り方を考えた。今後の学びにつなげたい。</p> <p>・経験を重ねることで、生徒の感染予防対策に対する意識や行動も定着してきた。状況に応じて工夫し、最大限にできることを考え実施する力を身に付けさせたい。</p> <p>・来年度、120周年記念行事の一環として「螢雪ライブラリー」(学校推薦図書)の再編と図書の購入を予定している。図書館の利用促進につなげたい。教室のパソコン利用については、来年度1人に1台配布されるパソコンの運用と合わせて活用方法を検討する。</p> <p>・様々な理由で、欠席や遅刻などが重なっている生徒もいる。家庭との連携の下、きめ細かな粘り強い支援を行いたい。</p> <p>・知恵を出し合い魅力発信に努めたい。</p>